

NPO事業・騒動記

来ちみなあ2号で共助研が応募をお手伝いさせていただいている、NPO協働モデル創出事業についてお知らせしました。

応募したテーマは、「葦やヨシ等の繁茂を原因とした小河川の洪水不安の解消」です。経過を報告させていただきます。

9月14日に「柴北川を愛する会」事務局長の渡邊さんから書類選考通過との連絡をいただきました。

次は9月28日の公開プレゼンテーション（発表のこと、以下プレゼンと略す）です。主催者の大分県からは、9団体が公開プレゼンをするので発表されていました。主催者が示した課題テーマで書類選考を通過していたのは、私たちを含め全部で3団体でした。残る6団体はオリジナルの提案事業のようです。

早速、作成済みのプレゼン資料(案)の構成を変更しました。提出期日9月23日の前日に、「柴北川を愛する会」から穴見会長、渡邊事務局長、北九州から波木さんそして私の4人が「来ちみなあハウス」に集まって最終仕上げです。他の共助研会員からもアドバイスをもらい、ぎりぎりの仕上げとなりました。

翌日の9月24日には、「来ちみなあハウス」に「柴北川を愛する会」の皆様が集まっていただき、プレゼンの予行練習を行いました。

その後は壮行会となり、皆様の家からのおいしい差し入れがいつの間にか揃い楽しい宴になりました。

なんとこの日が、私にとっての「来ちみなあハウス」初お泊りとなりました。翌朝は、寝具を借りた赤峰

副会長のお宅で朝食をご馳走になりました。

9月28日のプレゼン当日、長谷からはレディースと男性陣の合計6名が応援団として会場の大分銀行宗麟館に駆けつけて下さいました。プレゼンは渡邊さんと私が行いました。当日の発表の様子は、「ながたに振興協議会」のHPからご覧ください。

9月30日の発表当日、渡邊さんから連絡がありました。結果は残念ながら「不採択」でした。10月1日には慰労会と残念会を開催していただき、大変盛り上がりしました。

思えば5月からの4か月間は、「柴北川を愛する会」と共助研で目標に向かって取り組んだ貴重な機会となりました。応募資料作成にあたって、皆様から様々な助言やサポートをしていただく度に、改めて素晴らしい人達とお付き合いが出来ているなど実感できた日々でもありました。ありがとうございました。

今年で「柴北川を愛する会」が結成して10年目ということで、10周年記念誌の作成をされることを提案させていただき終わりたいと思います。
(波多野健志)



2016年10月10日発行

来ちみなあ 3号

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」（和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅）での活動を紹介する通信です。発行：「来ちみなあハウス」店子グループ

共助研からの伝言

長谷でも「田園回帰」を！ その2

東京などの大都市部から、若い世代や定年後の人びとの移住・定住を呼び込むのが「田園回帰」ですが、実際に「田園回帰」した人たちにその回帰理由を聞いた結果が総務省から報告されています。

「田園回帰」の移住先については、「メディア等で知った」、「過去に行ったことがある」、「自治体のPRで知った」と言う人が大半で、地域側としてはまず、地域のことを知ってもらう機会（宣伝や交流イベントなど）を用意することが大事なようです。

また、移住を決めた要因としては、「働ける仕事の有無」が一番ですが、「地域の受入れ雰囲気」や「住居の有無」なども重要視され、地域住民との話し合いや空き家の見学などが行われています。

大分合同新聞の9月21日号で、「来ちみなあハウス」での我々の活動を紹介していただきました。残念ながらNPO事業は不採択でしたが、このような様々な機会を通して地域にある「たからもの」を再発見し、それらを外に発信していきつつ、これからも「長谷地区での「田園回帰」をどう進めていくか」を共に検討していきたいと思えます。

次回は、「仕事づくり」のことも。

(波木健一)

ながたに風



9月3日（土）柴北川レディース主催の「1日研修旅行」（女性11人・男性7人）に、参加しました。

研修先は、福岡県東峰村小石原の窯元で、ロクロを使用した陶器の作成実演見学と、樹齢600年と言われる巨木「行者杉」の視察、次に棚田景観保全対策を実施している竹地区で現地視察と役員さんから説明を受けました。

何百年もの昔、人力で石を積んで造成した棚田がきれいに管理されていました。小さな集落ですが、棚田での火祭り・田植え体験・稲刈り・芋掘り・石垣の草むしり等の「棚田体験イベント」を実施して棚田景観保全に努めていました。

参加者から、いろいろな質問が出されて大変レベルの高い有意義な研修でした。

今後このような研修を計画した場合は、多くの参加をお願い致します。

爽やかな秋を迎え稲刈り等で農繁期となりますが、体に気を付けてがんばりましょう。

10月23日の収穫祭（稲刈り）の参加を、よろしく願い致します。



(穴見純一)

「来ちみなあハウス」の使用について

- 店子会員は、自由に使えます。
店子会員は、「共助研」メンバーで店子会費を支払った方と、「柴北川を愛する会」会員です。
現在、店子会員を募集中です。入会希望の方は店子グループ「管理人」までご連絡ください。
- 一時使用も可能です。
店子会員でなくても、ハウスの一時使用は可能です。
使用料は要りませんが、維持管理のための寄付をお願いしています。
- お問い合わせ等は、店子グループ「管理人」まで。
・波木健一（共助研・事務局）
・渡邊雪法（柴北川を愛する会・事務局長）